

入院のご案内

患者さまとご家族の方へ



古河赤十字病院

持ち物チェックリスト

入院受付で必要なもの

- ☐ マイナ保険証(または保険証)
- ☐ 診察券
- ☐ 入院申込書(最後のページ)
- ☐ 各種医療受給者証
- ☐ 限度額適用認定証(またはマイナ保険証)
- ☐ 入院質問票(予定入院の方)

よく確認
しましょう!

1 階総合受付 2 番窓口へ

病棟看護師へ

入院生活に必要なもの

- | | |
|--|---|
| ☐ 下着 | ☐ 服用中のお薬 |
| ☐ ねまき(前開きパジャマなど) | ☐ お薬手帳 |
| ☐ かかと付きシューズ
(スリッパ・クロックス禁止) | ☐ 入浴・洗髪用具(シャンプーなど) |
| ☐ コップ(ガラス・陶器以外で割れにくいもの) | ☐ イヤホン(テレビ視聴用・個室の方以外) |
| ☐ 箸・箸箱・スプーン・フォーク | ☐ ティッシュペーパー |
| ☐ タオル(5 枚程度) | ☐ 洗濯物等を入れるビニール袋
(3 枚程度) |
| ☐ バスタオル(3 枚程度) | ☐ マスク |
| ☐ 洗面用具
(歯ブラシ、石けん、電気髭剃りなど) | ☐ ハンガー(A・B・C 個室へ入院される方のみ) |

※病状や手術の有無で必要なものが異なります。

ご不明な点は看護師にお尋ねください。

※持ち物にはすべてお名前をご記入ください。

※リハビリをされる方は、シューズ(履き慣れた滑りにくい物)をご用意ください。

※オムツをお使いの方は、お尻拭き、泡タイプの清拭料をご用意ください。

※吸い飲み、目盛り付きカップ等、必要時は看護師がご説明します。

入院生活に必要な日用品は
売店でも販売しています。

面会について

・面会できる時間 平日・休日ともに 15:00 ~ 19:00
(ほかの時間帯では面会できない場合があります)

- ・お願い
- ・ 15 歳以下は面会できません。
 - ・ 他の患者さまのご迷惑になる大人数でのご来院はお控えください。
 - ・ 感染拡大防止のため、咳や発熱などの風邪症状がある方や、体調不良の方はご来院をお控えください。
- ※感染の流行によっては面会を制限することがあります。

CONTENTS

持ち物チェックリスト	2	入院費について	8	病院からのお願い	12-13
入院のご案内	3	特別の療養環境の提供に 関するご案内	9	せん妄とは	14-15
入院生活の基本的な 一日のスケジュール	4	よくある質問にお答えします!	10	私たちは「寝たきり」にさせない	16
入院中の生活	5	病棟の診療体制等 各種相談の窓口について	11	もしものときのために	17
施設・設備	6	診断書について		ころばぬ先の知恵袋	18-19
売店等のご案内	7			病院理念、基本方針 他	20
				入院申込書	24

入院のご案内

入院される患者さまとご家族の方へ

このパンフレットでは、入院にあたっての準備や入院中の過ごし方、ご利用いただける設備などについてご案内しております。入院に際してのご不安が少しでも和らいでいただけるようお渡ししておりますので、ぜひご一読をお願いします。お読みになった後、まだご心配なことがございましたら、どうぞお気軽にスタッフまでご相談ください。

西暦 年 月 日 () 時 分に

1 階総合受付 2 番窓口までお越しください。

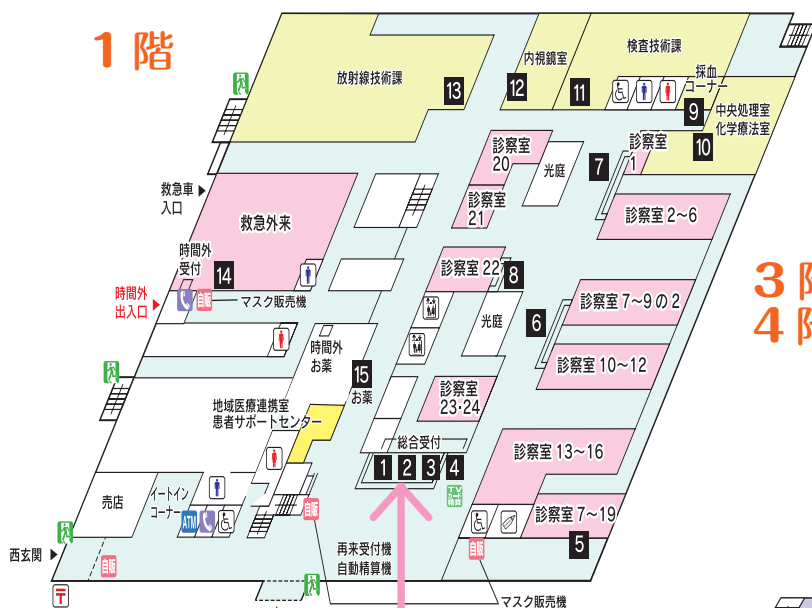
病棟名 ()

当日検査 ☐ 有

入院受付の流れ

- 1 予約入院の方は、指定された時間に 1 階総合受付 2 番窓口までお越しください。
- 2 マイナ保険証または保険証、診察券、最後のページの「入院申込書」を切り取って受付にお出してください。
各種医療受給者証、限度額適用認定証、介護保険証をお持ちの方はこちらもあわせてご提出をお願いします。
マイナ保険証または保険証や各種医療受給者証のご提出がない場合は自費診療扱いとなります。
- 3 ★看護師にお渡しください。
服用中のお薬やお薬手帳がございましたら、ご提示をお願いします。

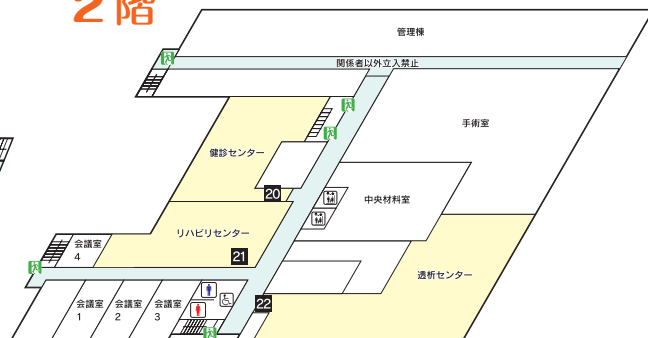
1 階



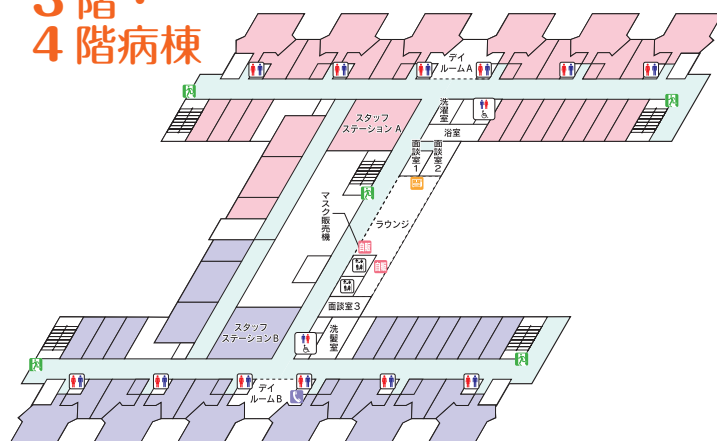
正面玄関

入院受付
1 階総合受付 2 番窓口

2 階



3 階・ 4 階病棟



入院生活の基本的な一日のスケジュール



午前 6 時

起床

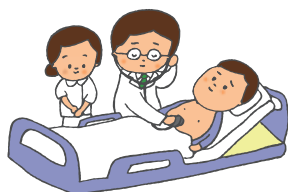
患者さまの病状や体調を看護師が確認に伺います。
早くお目覚めの方は他の患者さまのためにもお静かに
お願いします。



午前 8 時頃

朝食の時間です

治療の一環として医師の指示により患者さまそれぞ
れの病状にあわせた食事をご提供しています。



午前 9 時～午後 4 時

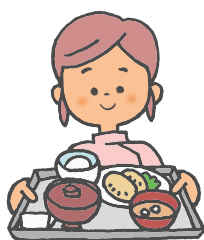
診察・治療・検査

診察・処置・検査・リハビリテーションなどをおこな
います。
病状・治療方法について医師が診察に伺います。



正午頃

昼食の時間です



午後 6 時頃

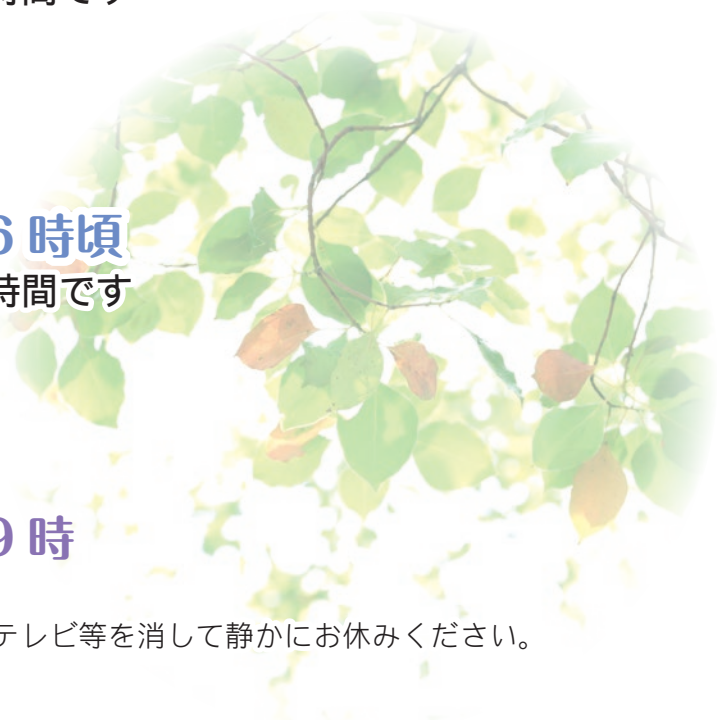
夕食の時間です



午後 9 時

消灯

照明、テレビ等を消して静かに休みください。



入院中の生活

食事

- 入院中の食事・栄養面についてご不明な点がございましたら、病棟スタッフにお声掛けください。
- 患者さまの栄養状態を良好に保てるように、医師、看護師、管理栄養士等がチームで管理をおこなっています。
- 食べることがうまくできない場合や食欲が低下している場合は、食事内容の変更や、刻み食等の対応が可能ですので遠慮なくご相談ください。



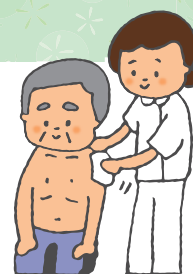
配膳後はお早めにお召し上がりください。

飲食制限について

入院中は検査や治療の精度・効果を高めるため、飲食物を制限させていただく場合があります。病院での食事は治療の一環です。外部からの持ち込みはご遠慮願います。

入浴・シャワー

入浴は医師の許可が必要です。各病棟の決められた時間にご入浴ください。
(入浴できない方は、お身体をお拭きします。)



持参薬についてのお願い

- 入院中に使用するお薬は、医師が許可したお薬以外使用しないでください。
- 患者さまが持参されたお薬（サプリメント、健康食品を含む。）をご自分の判断で使用されますと、お薬の相互作用によって、強く作用したり、逆に弱めたりすることで治療に支障をきたす場合があります。



外出・外泊について

入院中の外出・外泊には医師の許可が必要となります。ご希望される場合は、病棟スタッフにご相談ください。

ごみの処理

ベッド周辺の清掃と、ごみの回収は業者がおこないます。



転倒・転落予防について

- 入院生活は、住み慣れたご自宅と生活環境が異なります。病気やケガによる体力、運動機能の低下により、思いがけない転倒・転落事故が起こることがあります。
- スタッフ一同、患者さまの危険度を確認しながら十分注意しておりますが、全ての転倒・転落をなくすのは困難な状態にあります。
- 必要に応じてご家族と相談し、ベッドの工夫や離床センサーの設置を講じることがあります。
- 患者さまの不安が強く、危険が伴うと考えられる場合や転倒・転落事故が発生した場合は、夜間であっても、ご家族に連絡させていただきますので、ご協力をお願い致します。
- 転倒の危険性について、P18～19「ころばぬ先の知恵袋。」をご一読ください。
- 入院時にDVDを視聴していただきます。

施設・設備

テレビ

個室以外でテレビを視聴されるときは必ずイヤホンをご使用ください。
イヤホンは売店でも販売しています。

●個室 S…無料

●上記以外…有料

(テレビカード式：1,000 円 = 1000 分)

視聴できる時間帯は朝 6 時～夜 9 時です。

テレビカード

テレビカードは 1 枚 1,000 円です。
各階ラウンジの自動販売機で販売しています。
度数が残った場合は 1 階総合受付 4 番窓口前の TV カード精算機で 10 円単位まで精算が可能です。

Wi-Fi

テレビカード課金でご利用いただけます。
各階ラウンジの Wi-Fi 発券機でチケットをご購入ください。
個室は無料です。



洗濯・乾燥

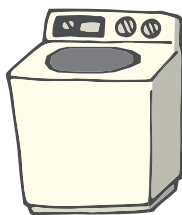
各病棟に設置しています。

・洗濯機 (1回200円)

・乾燥機 (30分100円)

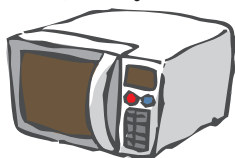
●消灯以降のご利用は
ご遠慮ください。

利用できる時間帯は朝 7 時～夜 7 時です。



電子レンジ

電子レンジは各階ラウンジに設置しています。
安全面上、ご家族のみご利用いただけます。
患者さまのご利用は
ご遠慮ください。



駐車場のご利用について

スペースの都合上、入院される患者さま
ご本人の駐車はご遠慮ください。



荷物カート (ペリカンカート) について

荷物運搬用カートをご用意しています。
正面玄関に設置してありますのでご自由にお使いください。

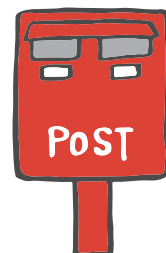
自動販売機 (飲料水)

当院は給水機を設置しておりません。
各病棟に設置してある自動販売機をご利用ください。



郵便ポスト

西玄関を出て左手に設置
しています。



ご意見箱の設置

ラウンジに設置しています。
お気付きの点がございましたら、ご意見をお聞かせください。

売店等のご案内



売店 1F

ニューヤマザキデイリーストア

営業時間

【平 日】	午前 8:00 ～午後 5:30
【第1・3土曜日】	午前 8:00 ～午後 3:30
【休 院 日】	午前 11:00 ～午後 2:30

主な取扱商品

弁当、パン、菓子、飲み物、雑誌、書籍、文具、日用品、医療・衛生材料、転倒予防シューズ、杖、パジャマ、肌着、テレビ用イヤホン、古河市「愛・あい号」チケット

切手
はがき

電子マネー
決済

クレジット
カード決済

宅配便
取次

※バーコード付きの振込用紙（公共料金等）をご利用いただけます。



イートインコーナーのご案内 ※ご自由にご利用ください

- 売店前にスペースを設けております。
- お菓子が飲めるよう、飲用水と、コップを設置しています。
- 手を洗うこともできます。



マスク販売機のご案内

1階 救急外来前、患者サポートセンター前

3階・4階 ラウンジ

【小児用マスク販売機は、小児科外来待合室に設定しています。】



ATMのご案内

- 売店前に常陽銀行のATMを設置しています。

利用可能時間

【平 日】 午前 9:00 ～午後 6:00

【土曜日】 午前 9:00 ～午後 5:00



入院費について

入院医療費の計算方法「DPC」は、病気の種類と診療内容によって分類される包括支払い制度です。1日あたりの定額部分と出来高部分を合わせて計算します。場合によっては該当せず、出来高のみでの算定になることもあります。

入院費のお支払いについて

ご入院中の入院費は月末締めで計算し、翌月10日頃病室に請求書をお届けします。お受け取りから7日以内にお支払いをお願いします。

お支払い場所

- 1階総合受付3番窓口
- 1階の自動精算機

お取り扱い時間

- 平日 午前 8:30～午後 4:30
- 第1・3土曜日 午前 8:30～正午

※領収証は一切再発行できません。大切に保管してください。

※現金以外に各種クレジットカード、キャッシュカード（デビット機能付き）もご利用いただけます。

- ご退院の際の入院費は、退院当日、看護師より請求書をお渡しします。
事前に概算額をご希望される場合は看護師にお申し出下さい。

高額療養費制度のご案内

高額療養費制度は、自己負担限度額を超えた分の医療費が返還される制度です。窓口支払額を自己負担限度額までにとどめることができます。この限度額は年齢や所得によって異なりますので、くわしくは総合受付2番窓口までお問い合わせください。

オンライン資格確認システムのご案内

このシステムを利用して、保険証またはマイナンバーカードのみで、窓口での支払いを自己負担限度額までにすることができます。マイナンバーカードを保険証として利用するためには、マイナポータルでの事前登録が必要です。ご不明な点がございましたら、総合受付2番窓口までお問い合わせください。

その他

- **ご相談** 入院費のお支払いのご相談は、1階総合受付3番窓口で、受け付けています。
医事課の担当者が対応をさせていただきます。

特別の療養環境の提供に関するご案内



※ご意向に沿えない場合がございますので、予めご了承ください。
(室料差額の料金：1泊2日の場合は2日間の費用となります。)

種 類	1日あたりの料金 (税込価格)	バス ルーム	シャ ワ ー	ト イ レ	冷 蔵 庫	テ レ ビ	W i F i	流 し 台	洗 面 台	ク ロ ー ゼ ット	ハン ガー
	1泊2日あたりの料金 (税込価格)										
個室 S	16,500 円	○	○	○	無料	無料	無料	○	○	○	○
	33,000 円										
個室 A	8,800 円		○	○	有料	有料	無料		○	○	
	17,600 円										
個室 B	7,700 円			○	有料	有料	無料		○	○	
	15,400 円										
個室 C	6,600 円				有料	有料	無料		○	○	
	13,200 円										

● テレビカード 1枚1,000円(1000度)
● 冷蔵庫 1日 200円 (200度)



個室 S



個室 A

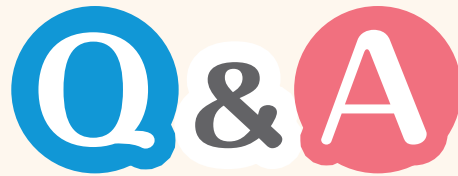


個室 B



個室 C

入院生活あれこれ



よくある質問にお答えします！

Q 入院中に住所や電話番号、保険証などが変わったのですが…？

A 次の場合はお早めに 1 階総合受付 2 番窓口までお知らせください。

- 自宅の住所や電話番号が変わったとき
- 保険証が変わったとき
- 各種医療受給者証に変更があったとき
- 限度額適用認定証を受け取ったとき
など

Q 入院中に保険証を携帯する必要はありますか…？

A 月が変わった時に、1 階総合受付 2 番窓口に提示してください。

Q 外来で検査予約をしたのに入院になってしまいましたか…？

A 原則として入院中には実施できませんので、主治医までご相談ください。

Q 入院中に他の病院を受診したりお薬を受け取ったりしたいのですが…？

A 入院日・退院日を含む入院期間中に、他の病院や診療所、調剤薬局で診療や処方を受けることは保険診療では認められておりません。

病棟の診療体制・看護体制について

- 入院中の検査や治療の計画について、ご説明します。（「入院診療計画書」や「クリニカルパス」）
- ご不明な点やご質問は、遠慮なく主治医または看護師等にお申し出ください。

1. 診療体制

- ①入院中の治療をおこなう診療科の医師が主治医になります。
- ②主治医以外の診療科の医師も加わり、チームで診療いたします。
- ③夜間及び休日は原則として当直医が診療にあたります。

2. 看護体制

- ①看護師は、2交代で勤務しています。
- ②患者さまの入院生活においては、各勤務帯の担当看護師が対応します。
- ③看護師長、看護係長が看護の責任者となります。

3. 働き方改革における医療従事者の業務負担軽減対策について

- ①病状の説明や手術・処置の説明は、原則勤務時間内に行います。
診療等の関係や緊急の場合を除き、これらの説明は前もって約束した勤務時間内に行わせていただきます。
- ②土日、祝日、平日夜間等は当直医師又は当番医師が主治医に代わり、責任をもって対応します。
必要に応じて、主治医と連絡をとりながら適切に診療を行います。
- ③必要時間以外の時間外の外来受診を控え、緊急外来診療等の適切な利用をお願いします。
時間外の外来受診が医療従事者の過重な負担の原因の一つになっています。

各種相談の窓口について

どうぞお気軽にご利用ください

患者サポートセンター

患者さまとそこご家族の様々なご相談に対応しています。

（平日） 午前8:30～午後4:30

（第1・3土曜日） 午前8:30～正午

※ご相談がある方は、各窓口にお声掛けください。 ※令和7年10月から土曜日はすべて休院となります

●相談対応者

看護師、ソーシャルワーカーなど

●相談内容

- ・ 疾病に関する医学的な質問
- ・ 生活上及び入院上の不安
- ・ 退院後の生活に関すること
- ・ 地域の医療機関に関すること など

診断書について

※生命保険の診断書は、次の手順で発行いたします。

①申し込み

保険会社から必要な書類をお取り寄せください。退院日（入院期間等）を書類にご記入の上、1階総合受付2番窓口にお申し込みください。発行に要するおおよその日数と、受取方法をご説明し、申込書控（複写用紙）をお渡しします。

- ・ 受付時間 （平日）午前8:30～午後4:30 （第1・3土曜日）午前8:30～正午

※令和7年10月から土曜日はすべて休院となります

- ・ 午前中は混み合いますので、できるだけ午後をお願いします。ご了承ください。

②書類が仕上がりましたら、担当者よりお電話させていただきます。

③受けとり 次のものをお持ちになり、1階総合受付3番窓口までお越しください。

- ・ 申込書控え
- ・ 身分証明書（保険証、運転免許証など）
- ・ 代理人が受け取られる場合は、代理人の方も身分証明書をご持参ください。

※ご不明な点は、病棟看護師にご相談ください。 ※傷病手当の書類は証明期間を必ずご確認ください。

診断書の種類

診断書	生命保険診断書	自賠責保険診断書	後遺症診断書	国民・厚生年金診断書
診断書（英文）	生命保険証明書	自賠責保険明細書	身体障害診断、意見書	医療費証明

研修生の受け入れについて

当院では、以下の実習生の受け入れを行っています。

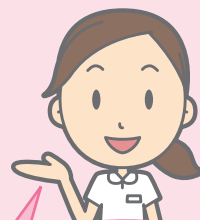
- ・ 医学部学生
- ・ 看護師特定行為
- ・ 看護学生
- ・ 薬剤師
- ・ 臨床工学技士
- ・ 救急隊員
- ・ 理学療法士
- ・ 作業療法士
- ・ 管理栄養士
- ・ 医療事務

医学部学生、看護師特定行為においては、指導医のもと、通常の医師が行う際と同様の行為を安全性を確保しながら行います。ご理解とご協力をお願いします。

病院からのお願い

他の患者さまにご配慮ください。

- 当院では、多くの患者さまが療養されています。
入院中は他の患者さまにご配慮ください。
- 消灯後の照明の点灯やテレビの視聴、談話、洗面所の利用などは
ご遠慮願います。
- 同室者がいるお部屋では、話し声の大きさ等、過ごし方に十分
ご注意ください。



静かな環境づくりに
ご協力をお願いします。

お名前の確認に ついて

事故を防止するため、入院中の患者さまには、リストバンドを付けさせていただきます。
リストバンドがきついときや肌にトラブルが起きたときは、すぐに病棟スタッフにお知らせください。
また、検査や点滴などの前にはご自分のお名前をフルネームで名乗っていただきます。
ご協力をお願いします。

禁煙・禁酒に ついて

当院敷地内は全面禁煙です。
また、入院中の飲酒は禁止いたします。
ノンアルコール飲料、電子たばこも禁止です。

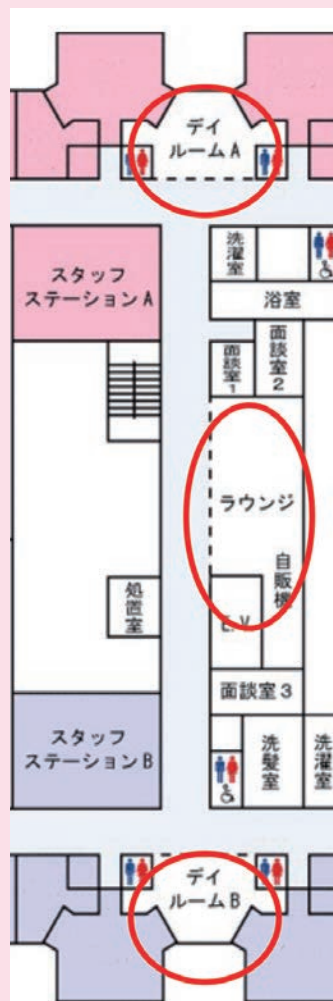


電話の使用について

院外への連絡は、公衆電話や個人の携帯電話をご使用ください。

携帯電話を
使用できるエリア（各病棟）

通話可能エリア（○印）



臓器提供意思表示カードについて

臓器提供意思表示カードをお持ちの方、また臓器提供に関して相談したい方は、当院職員にお声掛けください。



電気製品の持ち込みについて

電化製品（ノートパソコンなど）については、患者さまの症状によって使用いただけない場合もありますので、看護師にご相談ください。

お心づけについて

職員に対する金品の贈与は、病院の方針としてお断りしています。

お部屋の移動について

患者さまの病状や診療上の都合により、病室のご希望に沿えない場合やお部屋を移動していただくことがあります。予めご了承ください。

迷惑行為のお断り

当院のスタッフ及び利用者に対する暴言や暴力、セクハラなど院内の秩序を乱す迷惑行為、犯罪行為を発見した場合は、警察に通報します。



ご入院後の病棟移動について

退院の準備を行う等、入院継続が必要な場合には、治療のためにご入院いただいた病棟から、「地域包括ケア病棟」(4階A病棟)へご移動をお願いすることがあります。

医師が必要と判断した場合、「地域包括ケア病棟」は、退院後の療養環境を整え、60日以内の退院を目指します。医師・看護師・理学療法士・作業療法士・相談員が退院に向けたサポートをさせていただきます。

「地域包括ケア病棟」についてのご質問は、入院された病棟の看護師長にお声掛けください。

おくすりについてのご案内

当院では入院中の薬物治療をより安全なものとするために、患者さまが入院前から使用中のお薬(他院で処方されたお薬や市販薬・健康食品等を含む)の情報や服用状況を、当院の薬剤師が確認するとともに、院外保険薬局の薬剤師にも確認してもらうことをお願いする場合があります(院外保険薬局から当院にお薬情報等が提供されます)。

当院薬剤部でお渡しした書類を持参の上、入院前に余裕をもって院外保険薬局にご相談ください。

後発医薬品・バイオ医薬品について

当院では「後発医薬品」や「バイオ医薬品」を積極的に使用しています。

後発医薬品(ジェネリック医薬品)とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分の医療用医薬品です。

また「バイオ医薬品」とは、遺伝子組み換え技術や細胞培養技術等を応用して、微生物や細胞がもつタンパク質(ホルモン、酵素、抗体等)等を作る能力を利用して製造される医薬品です。

入院中は、患者さまが普段ご使用中のお薬を、製造会社が異なる同じ成分の医薬品に変更して処方されることがあります。お薬の変更に不明な点、ご不安な点がある場合には説明いたしますので、遠慮なく病院職員にお声がけください。

盗難防止について / 貴重品の管理について

- 手持ちの現金は必要最小限にとどめ、貴重品はできる限りお持ちにならないでください。お持ちになった場合には、床頭台のセーフティボックスをご利用ください。病室を離れるときは施錠のうえ鍵の携行をお願いします。
- 貴金属、眼鏡、補聴器、義歯などは自己管理をお願いします。
- 盗難や破損、紛失に関して当院は一切の責任を負いかねます。



危険物の持ち込みについて

刃物類(ハサミ、カッター、ナイフ等)や火気類など危険物の持ち込みは禁止します。



院内撮影について

当院では、患者さまおよび職員のプライバシーを保護するため、院内での写真撮影(動画を含む)および録音は原則禁止しております。(許可された場合は除きます)



せん妄とは

(患者さま・ご家族さま用)



〔せん妄とは〕

せん妄とは、脱水、感染、貧血、薬物など、からだに何らかの負担がかかったときに生ずる脳の機能の乱れであり、主に次のような変化や特徴がみられます



意識があいまい
ぼんやり



夜、ねむらない
(昼夜逆転)

この他、おこりっぽくなり、興奮しやすくなる、ありえないことを言う(妄想)などの症状が特徴的です。



ないものが見える
(幻視)

点滴チューブを抜く

せん妄は、身体の症状のひとつであり「気持ちの持ちよう」や「こころの問題」ではありません。ぼけてしまったとか、精神病になったわけでもありません。適切な治療を行えば、半数以上の患者さまは症状が改善すると考えられています。



『せん妄』は一般総合病院に入院している患者さまの20～30%にみられる症状です。

病状が進んだ時期にはその割合が上がります。

せん妄になりやすい方は

- ・ 高齢の方
- ・ 普段、お酒を呑む量が多い方
- ・ 認知症あるいは普段から物忘れが多い方
- ・ 視力が低下している方や難聴がある方
- ・ 以前にせん妄になったことがある方

〔せん妄がもたらすもの〕

- ・危険な行動の原因となる
(点滴のチューブなどを抜く、ベッドから落ちるなど)
- ・患者さま自身がつらい思いを感じる
(頭が混乱して眠れない、不安になるなど)
- ・入院の治療目標が達成されない
(意識がもうろう、安静を保てないなど)



〔せん妄の治療〕

負担となっている身体の問題（感染症や痛みなど）を取り除くことが治療の基本です。この基本的な治療に患者さまが安心できる環境の調整を合わせて治療をすすめます。

なじみのものを使用



日時を意識



家族の写真や話題



おくすりについて

せん妄（脳の機能の乱れ）の改善には、うつ病や認知症、統合失調症の患者さまに対して処方されるくすりが一般的には評価されており、当院でも、まずこれらの薬を使用することがあります。（保険適応外の場合も含む）くすりの効き方には個人差がありますので、少量から用いて患者さまの症状に応じて加減します。また日中に眠くなったり、飲食物が飲み込みにくくなったりすることがありますが、そのような場合には、くすりの量を減らす、他のくすりに変更するなどの対処をいたします。



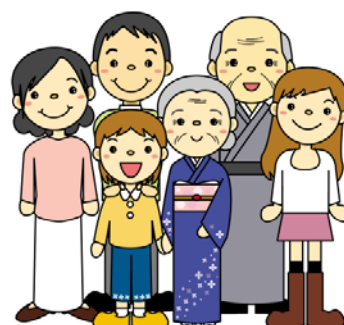
〔ご家族さまへ〕

患者さまの意識が混乱しているときは、ご家族がそばにいただけで患者さまは安心されます。

- ・つじつまの合わないお話があっても、無理に正す必要はありません。
- ・いつも通りの落ち着いた言葉かけをお願いします。
- ・症状が強くなる夜間は、ご家族の付き添いをお願いすることもあります。

患者さまのために、ぜひご協力をお願いします。

わからないこと、お困りのことがございましたら、遠慮なく病棟看護師や担当医までご相談ください。



私たちは「寝たきり」にさせない！

医療安全推進室

入院中に筋力を落とさず、いつも自分で出来ていたことを続けられるようお手伝いさせていただきます。



入院中はベッド上での生活が増えてしまいます。
手術や検査などで安静にしていだきたい場合を除き、洗面やトイレ、散歩など、いつも通りの生活が出来るようお手伝いさせていただきます。
入院前よりも体力が落ちてしまい、時には転んでしまうこともあるかもしれませんが、大きなケガにならないよう療養環境の整備に力を入れています。
声をおかけして、病院スタッフが見守りやお手伝いをさせていただきます。
「転ばない」ではなく「転びにくい」または「転んでもケガをしない」ために、一緒に取り組んで頂ければと思います。

* そのためにご家族にも協力して頂きたいことをいくつか挙げます *

必見

スリッパ・クロックスは
履き慣れていても転びやすい。
(床との相性)

◎ 普段の様子をお知らせ下さい。
・家でも転んだことがある
・杖を使用
・夜はトイレに2回以上起きる
…など ◎

P18～P19

“ころばぬ先の知恵袋。”
おっと、危ない！を
ご一読下さい。



今までは出来ていたことが
環境の変化により出来にくく
なる事があります。
遠慮なさらず職員に
お声掛けください。



当院へ入院された方へ

もしものときのために

万が一、病状の悪化やなんらかの理由で、自分の治療について自分で判断できなくなったとき、どんな医療を受けたいか、どんな最期を迎えたいか、あらかじめ考え決めておくことを「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」と言います。



当院で作成した“ACPパンフレット”があります
詳しく知りたい方は患者サポートセンター
または看護師へお声がけください。

<参考資料>
人生の最終段階における医療・ケアの
決定プロセスに関するガイドライン
(厚生労働省)

ころばぬ先

おっと、 こんなこと

「迷惑かけちゃいけない」の巻



忙しいのにと、いつも医師や看護師を気遣ってくださいますね。でも安全に元気になっていただくのがなにより嬉しいんですよ。

私たちに
声をおかけ
くださいね!



の知恵袋。 危ない！ があります

落としたものを
拾おうとして。



点滴の台につかまったら、
そのまま台が動いた！



車いすに
乗ろうとして。

スリッパは脱げやすいので
かかとのある履き物を



「言って良かった！」の巻

さて、イスに座って
テレビでも…



あらまっ
大丈夫？



実は先日
転んじやって…

そつでしたか



そういうことを
教えてもらえると
助かります！

ほらね
言うてよかった
でしょ



心配かけたらいけないなんて、優しいですね。でもお家であったことを、なんでも話していただくことが、一番助かります。

病院理念

日本赤十字社の使命と責任を持ち、地域の皆さまの健康を守る最良の医療を提供します。

基本方針

1. 日本赤十字社の人道・博愛の精神を基本とします。
2. 災害時の医療救護活動に積極的に参加します。
3. 安全・安心な医療を提供します。
4. 地域の医療機関・介護施設との連携の強化をします。
5. 健全経営を目指します。

医療を受ける患者さまの権利と義務

患者さまには以下の権利があります

- 個人の人権が尊重される権利。
- 安全で適切かつ公平に医療を受ける権利。
- 個人情報やプライバシーが保護される権利。
- 医療行為について、十分な説明と情報を受ける権利。
- 自らの意思で医療行為を選択する権利。

患者さまには以下の責務があります

- ご自身の健康状態等に関する情報は可能な範囲で正確に提供してください。
- 当院のルールに従い、診療や管理運営に協力してください。
- 診療の支障となったり、他の方の迷惑となる行為はご遠慮ください。
- 受けたサービスに対する費用をお支払いください。

子どもの患者の権利についても定めています。詳しくは当院 web サイトをご覧ください

当院における個人情報の利用目的

1. 医療の提供
 - (1) 当院での医療サービスの提供
 - (2) 他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
 - (3) 他の医療機関等からの照会への回答（返事含む）
 - (4) 患者さまの診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
 - (5) 検体検査業務の委託その他の業務委託
 - (6) ご家族等への病状説明
2. 診療費請求のための事務
 - (1) 当院での医療・介護・労災保険、公費負担医療に関する事務およびその委託
 - (2) 審査支払機関又は保険者からの照会への回答
 - (3) 公費負担医療に関する行政機関へのレセプトの提出、照会への回答
 - (4) その他、医療・介護・労災保険および公費負担医療に関する診療費請求のための利用
3. 当院の管理運営業務
 - (1) 会計・経理
 - (2) 経営分析（匿名加工情報として第三者への提供）
 - (3) 医療事故等の報告
 - (4) 当該患者さまの医療サービスの向上
 - (5) 入退院等の病棟管理
 - (6) その他、当院の管理運営業務に関する利用
4. 企業等から委託を受けて行う健康診断等における企業等へのその結果の通知
5. 医師賠償責任保険などに係る医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等
6. 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
7. 当院内において行われる医療実習への協力
8. 医療の質の向上を目的とした当院内での症例研究及び一般社団法人 National Clinical Database、一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業（Japan Neurosurgical Database：JND）の症例登録
9. 外部監査機関への情報提供
10. 行政・公的機関・消防署等による調査依頼報告
11. 健康増進法に基づく院内感染対策サーベイランス事業による国、地方公共団体、関係団体への情報提供
12. 国及び茨城県へのがん登録にかかる情報提供
地域がん登録事業及び院内がん登録事業における医療機関から茨城県がん研究センターへの診療情報の提供は個人情報法等で規程する「利用目的による制限」及び「第三者提供の制限の本人同意の原則適用除外の事例に該当するとされています。（厚生労働省健康局長通知 2004 年 1 月） また、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン（厚生労働省 2004 年 12 月）においても、地域がん登録事業及び院内がん登録事業への情報提供は、公衆衛生上のために特に必要な場合に該当するため「本人の同意を必要としない」とされています。
13. 学会や研究会で患者のみなさまの個人情報が医療の発展を目的として利用されることがあります。（学会・研究会では氏名等の個人を特定できるような情報は発表しませんが、場合によって匿名化が困難な場合は予めご本人の同意を得た上で使用します。）
14. 治験及び市販後臨床試験への情報提供については関係する法令、指針に従い進めます。
15. 法令に基づく情報提供（裁判所・警察・弁護士等）
16. 日本赤十字社及び日本赤十字社茨城県支部への情報提供

MEMO

古河赤十字病院 理念

日本赤十字社の使命と責任を持ち、
地域の皆さまの健康を守る最良の医療を提供します。



交通のご案内

【JR をご利用の方】

- JR 大宮駅より JR 宇都宮線
下り宇都宮・小金井方面行きで JR 古河駅まで快速で約 30 分、普通で約 40 分
- JR 小山駅より JR 宇都宮線
上り大宮・上野方面行きで JR 古河駅まで快速で 11 分、普通で 14 分

【古河駅東口からのアクセス】

- バス（古河日赤構内まで入るもの）
 - ・ JR バス関東
バス乗り場（JR バス関東）より「35 系統」
 - ・ 古河市内循環バスぐるりん号
バス乗り場（JR バス関東）より、「通勤通学コース」「総和庁舎・病院コース」で約 8 分～約 42 分
※ぐるりん号はコース・ルートによって所要時間が変わりますのでご注意ください。
- タクシー 日赤病院までとお伝えください（約 10 分）

入院申込書

このたびの入院については、病院からの説明を十分理解しましたので、入院を申し込みます。入院後は、病院の諸規則並びに診療上指示されたことを守り、診療に関する患者負担の費用については、病院からの指示があり次第、遅滞なく支払うことを連帯保証人と連署をもって約束します。

【同意事項】

- 1. マイナ保険証または保険証の提出がない場合、又は休日退院時の場合は、保証金として5万円を納めます。
- 2. 暴言、暴力、セクシャルハラスメント、病院の秩序を乱す行為等を致しません。万一これに違反したときは転院・退院等の医師の指示に従います。

年 月 日

患者ご本人	現住所	〒		
	フリガナ		生年月日	T・S・H・R 年 月 日
	氏 名			
	電話（自宅）		年 齢	歳
	電話（携帯）		性 別	男 ・ 女

連帯保証人※	現住所	〒		
	フリガナ		自宅電話 携帯電話	
	氏 名	印		
	患者との続柄	父母 ・ 子 ・ 兄弟（姉妹） ・ 孫 ・ 祖父母 ・ その他（ ）		
	極 度 額	30 万円		

(注) 連帯保証人(生活保護の方は除く)は、患者が負担する入院料その他の諸費用について、極度額の範囲内で連帯して保証する。連帯保証人が立てられない場合は、極度額と同額の保証金を納めていただきます。
・連帯保証人については、患者ご本人とは別世帯で、独立した生計を営んでおられる方を選定してください。

緊急連絡先	現住所	〒		
	フリガナ		生年月日	T・S・H・R 年 月 日
	氏 名			
	電話（自宅）		年 齢	歳
	電話（携帯）		性 別	男 ・ 女
	患者との続柄	配偶者 ・ 父母 ・ 子 ・ 兄弟（姉妹） ・ 孫 ・ 祖父母 ・ その他（ ）		

古河赤十字病院 病院長 あて

(記入にあたってのお願い)

- 1. 入院を申し込むにあたり、患者さまの容態によりご本人からの了解を得ることが困難であるときは、ご家族の了解をもってこれに代えさせていただきます。(患者さまが未成年の場合は、法定代理人である親権者として。)
- 2. 記入事項に変更が生じた場合は、速やかに届出願います。
- 3. 緊急入院で入院申込書が入院当日に提出できない場合、入院日から1週間以内に総合窓口 2 番へご提出ください。

(個人情報に関する取扱い)

患者さまの個人情報を、病室やベッドの名札の表示、面会者が来院した場合の応対のために利用することがあります。同意されない場合はお申し出ください。